

第45回記念新日美展 受賞の喜び

文部科学大臣賞 絵画部門 上原 芳信

この度は思いもかけない大賞を頂きこれからの大きな励みとなります。

第三四回新日美展に初めて出展し毎年続けてまいりました。三五回時には癌の病気も患い人生の転機となり、建築設計の事務所を閉鎖し個人経営の事務所へと転換、残りの人生を見つめ直す機会となり、絵をもっと深く描く決心をし、絵の表現に毎回悩みながら製作に励んでおります。

誰かが絵と対峙した時「詩」が感じ取れるようであれば良い絵ではないと聞いた気がします。光を意識し自然の美しさ・感動の伝わる風景・物を意識し、目に見えない空気が表現できればと毎回試行錯誤の連続です。

同じ景色でも朝・昼・夕全く違った感情が伝わります。光の変化・温度差による空気が見える人の心象風景に響くのではないでしょうか。表現は具象的・抽象的の場合もあり、今後表現の幅が広がるよう励みます。

東京都知事賞 絵画部門 相楽 富美子

長い間絵を描いていて今考えると、本展作品の対象が四回位変わっていたと思います。

初め「人物」「心象」「海」、そのころから海外旅行をすることが多く、特に建物に心惹かれ出品していました。

ある時「旅先の絵だよ」と言う人がいて、自分だけ感動し描いていたかもしれないと気づき、この頃から生まれ育った多摩川

近辺の場所を描き、今回の作品も台風の後スケッチしたもの。見た方の感想が自分にうなづけた事が良かったと思いい、今後も見る人に自分の心が伝わる絵を描けたらと思います。

東京都議会議長賞 絵画部門 星澤 徳尚

モチーフ探し

絵のサークル活動でスケッチしに行きますが、とにかく五時間以内に最低一枚描かないと話にならないので、陽だまりがあればOKなのに一人でモチーフ探しするとなかなか決まりません？

受賞した風景画も日光の赤沼から千手ヶ浜に向かつて何回も歩いている道でしたが、あつちにフフフにこちにフフフ、しなが

ら坂道を下って左手に池があるなぐらいで素通りしましたがチョット振り返ったら、(あー)奥の方が開けて綺麗に見えて、ここなら描ける。

周りは樹木で囲まれて無風状態なので、鏡みたいになって風景を写し込んでいました。本当にあのタイミングで振り返らなかつたら、受賞も無かったです。

受賞して口頭でお袋に伝えたら「良かった」ぐらいでしたが、後日改めて表彰状を見せたら凄く喜んでくれて、こちらは(口で言った)表彰状と同じ意味だと思つてましたが喜び方に温度差があり過ぎて逆にシヨクでした。でも喜んでもらえて良かったです。

東京都議会議長賞 工芸部門 藤田 有里子

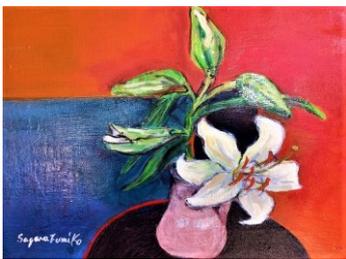
「箔で表現する」ことの楽しさ

お気に入りの一枚 上原 芳信



[五月の葡萄園]
油彩画 F50

お気に入りの一枚 相楽 富美子



[ゆり]
油彩画 F4

お気に入りの一枚 星澤 徳尚



[11月の赤川ダム]
アクリル F10

お気に入りの一点 藤田 有里子



[カンパネラ]
箔絵 24×40 cm